INAGI Shakyo Dayori

いなぎ社協だより

発　行 ●社会福祉法人 稲城市社会福祉協議会
所在地 ●〒206-0804 稲城市百村7番地 稲城市福祉センター内
電　話 ●042-378-3366（代表）　FAX●042-378-4999
メール ●soumu@inagishakyo.org　ホームページ●https://inagishakyo.org

第201号　令和7年7月20日

稲城社協は、地域の皆さんと“ともに支え　みんなでつくる　思いやりのまち”をめざします！

稲城市社会福祉協議会 会員加入のお願い

皆さまにご協力いただいた賛助金は、次の福祉活動などに活用させていただいています

地域の縁側 ふれあいセンター（孤立防止のために）

地域の方々が気軽に立ち寄れる憩いの場、地域福祉活動の拠点として、市内8か所の「ふれあいセンター」をボランティアが運営しています。

ふれあいセンター矢野口「ふれあい矢野口の集い」▶

市内小・中学校などでの福祉教育（共に生きる力を育むために）

▲六点の会による点字体験

市内の小・中学校などでボランティアグループや障害当事者などの協力のもと、車いすや点字、手話、白杖（はくじょう）体験などの出前授業を行っています。

福祉車両の運行（社会参加を支えるために）

歩行が困難な方の移動手段として、ボランティアの協力を得て、5台の福祉車両（ハンディキャブ）を運行しています。

◀車椅子のまま乗れるハンディキャブ

ボランティア活動の推進（支え合える地域づくりのために）

ボランティアグループの活動支援や各種ボランティア養成講座を行っています。

災害ボランティアセンター設置・運営訓練▶

支援が必要な方への取り組み（さまざまな困りごとの相談窓口として）

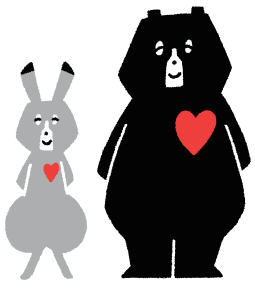
地域福祉コーディネーターが、地域の居場所作りとしてサロン活動や生活に困窮する方への支援としてフードドライブなど、地域課題の解決にむけて地域の皆さんと一緒に取り組んでいます。

広報紙「いなぎ社協だより」の発行（福祉に関する情報をお届けするため）

「いなぎ社協だより」を年4回発行し、地域の福祉情報をお届けしています。

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、地域福祉の推進を目的として各市区町村に設置されている非営利の民間団体です。
当協議会は、昭和46年（1971年）の設立以来、市民の皆さんや地域の団体の参加と協力を得て、各種の福祉事業を行っています。

皆さまのご協力をお願いします！



会員の種類と賛助金額

- ●一般会員　500円以上
- ●賛助会員　1,000円以上
- ●特別会員　3,000円以上

※金額は任意です。
※会員種類による会員の活動などに違いはありません。
右記以外の方法は2ページをご覧ください。

右記の払込取扱票で手続きしてください。必要事項をご記入のうえ、最寄りのゆうちょ銀行、郵便局から払い込んでください。

払込取扱票

02 東京
口座記号番号：00140－4　54703
金額（千 百 十 万 千 百 十 円）※
通常払込料金加入者負担
料金
備考
加入者名：社会福祉法人稲城市社会福祉協議会
通信欄・ご依頼人
※貴会の趣旨に賛同し、会員として入会を申し込みます。　02
□ 一般会員　年額一口　500円以上
□ 賛助会員　年額一口　1,000円以上
□ 特別会員　年額一口　3,000円以上
おところ　〒※　－
おなまえ　※　様
（ご連絡先電話番号　－　）
日附印
裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号 東 第56155号）
これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号：00140－4　54703（通常払込料金加入者負担）
加入者名：社会福祉法人稲城市社会福祉協議会
金額（千 百 十 万 千 百 十 円）※
ご依頼人：※おなまえ　様
料金
備考
日附印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

賛助金のお支払い方法

自治会を通じて　例年、自治会を通じてご協力いただいている方は、引き続き同じ方法でお願いいたします。

クレジットカードで　オンラインクレジット決済システムをご利用いただけます。下記URL▼または右記QRコードから▶
https://syncable.biz/associate/INAGISHAKYO/donate/membership

振込みで

郵便局	口座番号	口座名義
	00140-4-547303	社会福祉法人稲城市社会福祉協議会

振込手数料をご負担ください。お振り込み後は、お手数ですが下記担当までご連絡くださいますようお願いします。

銀　行	銀行名	支店名	口座番号	口座名義
	ゆうちょ銀行	〇一九支店	当座　0547303	社会福祉法人稲城市社会福祉協議会
	みずほ銀行	稲城中央支店	普通　513783	社会福祉法人稲城市社会福祉協議会　会長　川島幹雄

現金で　当協議会窓口までお願いします。

払込取扱票で　下記の払込取扱票を使って郵便局の窓口かATMで手続きしてください。
通帳またはキャッシュカードで口座から振り込む場合、手数料は無料です。
（現金で振り込む場合は1件あたり110円の手数料がかかります。）

＼私たちも会員です！／

1 新着メッセージ

今村　茂さん

読書のバリアフリーを目的に点訳ボランティアとして活動しています。定年退職後、東京パラリンピック大会ボランティアを経て、稲城市社会福祉協議会で開催された点訳ボランティア養成講座を受講し、点訳ボランティアグループ「六点の会」に入会しました。書籍や社協だよりなどの点訳だけでなく、小・中学校に出向いて、点字体験を通じた福祉教育や市立図書館やイベントでの点字体験に協力しています。リタイヤ後もサラリーマン時代とは違う形で様々な分野の人たちや社会に関わり続けられる好機会になっています。

2 新着メッセージ

田中　ひかりさん

民生・児童委員として活動しています。最初の活動が歳末たすけあい運動の街頭や戸別訪問で募金のご協力をお願いすることでした。その時にこの募金はどのように使われているのだろう?と興味を持ったことが社協の事業を知るきっかけでした。その後、賛助金により、福祉のまちづくりのサポーターになれると知ったので、会員になろうと思いました。昨今の物価高などにより、お困りの方は増えており、社協に期待される役割も多岐に渡ります。「思いやりのまち」を目指して、たゆまず前進してほしいです。応援しています。

窓口・問い合わせ

社会福祉法人稲城市社会福祉協議会　地域福祉係

〒206-0804　稲城市百村7番地（福祉センター内）
Tel 042-378-3800（直通）042-378-3366（代表）
Fax 042-378-4999　vc@inagishakyo.org

当協議会の賛助金は税制上の優遇措置（税額控除）の対象です

個人の方が当協議会に賛助金や寄付金のご協力をいただいた場合、所得控除または税額控除のどちらか有利な方を選択できます。
※税額控除を受けるには、確定申告の際に次の書類が必要です。

①「社協会員賛助金の領収書」または「寄付金の領収書」
②「税額控除に係る証明書」（当協議会ホームページからダウンロードできます）

詳細はお問い合わせください。

2

きりとり線

（ご注意）
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きＡＴＭでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

＊この受領証をもって会員証とします。

収入印紙
課税相当額以上
貼　付
印

きりとり線

ともに支え みんなでつくる 思いやりのまち

会員募集中

社会福祉法人
稲城市社会福祉協議会
東京都稲城市百村７番地 稲城市福祉センター内
☎ 042−378−3366　fax 042−378−4999
https://inagishakyo.org/

この場所には、何も記載しないでください。

きりとり線

●令和6年度 会員加入状況

合　計	6,531件	4,594,022円
会員内訳		
一般会員	6,086件	3,019,810円
賛助会員	213件	239,630円
特別会員	232件	1,334,582円

会長挨拶

令和7年6月
社会福祉法人
稲城市社会福祉協議会
会長　川島　幹雄

このたびの稲城市社会福祉協議会の役員・評議員の一斉改選に伴い、理事・評議員各位のご推挙とご承認を賜り、前期に引き続き会長職を拝命することになりました。稲城社協が創設以来、歴代役員各位ならびに職員が今日まで脈々と語り継いできた『ずっと稲城で暮したい』を合言葉に、市民の皆様が住み慣れたまちで安心して生活でき、『社協があって良かった』と引き続き思っていただけるよう、今後も役職員一丸となって地域福祉の更なる充実を目指して事業を推進し、良質な福祉サービスが迅速かつ丁寧に提供できるよう努力してまいります。

現在、市民のライフスタイルや価値観の多様化が進む中、暮らしの中で抱える課題や支援のニーズは複雑化・複合化しており、市民一人ひとりに合わせた支援が必要になっています。これからも住民主体の理念に立ち、住民の支援ニーズの把握に努め、関係機関と連携・協働して生活支援や課題解決に向け、ニーズに合わせた福祉サービスを提供してまいります。稲城社協は令和６年度に、令和１１年度までの６年間を計画期間とする『第六次稲城市住民活動計画』を策定しました。この計画の基本理念を「ともに支え　みんなでつくる　思いやりのまち」とし、すべての人が地域で安心して生活できるよう、地域で支え合い、個人の尊厳が守られるまちを目指して様々な事業を展開してまいります。また、稲城市が新たに策定した『第四次稲城市保健福祉総合計画(地域福祉計画）』では、福祉分野の横断的な計画である「重層的支援体制整備事業実施計画」が定められ、その多くの事業を稲城社協が受託して、令和６年４月から事業を開始しました。この重層的支援体制整備事業の大きな柱は、弱体化した地域力の再生を図ることにあります。稲城社協では、重層的支援体制整備事業と目指す方向を同じくする「コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業」を平成２９年度から今に至るまで最重点事業として実施しています。CSW事業で培い体得した「地域共生社会の実現」に向けた大いなる成果を軸に、職員一人ひとりが市民の困りごとを受け止める相談窓口として自覚し、関係機関と共に適切な支援を提供できるよう全力を挙げて事業展開を図ってまいります。

これからも、法体制や社会環境がいかに変化しようとも、市民の皆様と共に歩む稲城社協の姿勢に些かの変化も生じません。いつ如何なるときも『頼りになる社協』であり続けられるよう微力ながら全力をもって努力いたしますので、引き続き皆様のご協力となお一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

新役員・評議員名簿

（令和7年度 定時評議員会終結時に就任）

役員		役員	
会長	川島　幹雄	理事	洞地　一德
副会長	榎本　勝美	理事	竹田　有為子
副会長	原島　博史	理事	富岡　孝幸
副会長	桐生　聖子	理事	髙天　直樹
常務理事	工藤　絵里子	理事	関　初枝
理事	稲田　光利	監事	福島　英朗
理事	増田　幸雄	監事	岩藤　真実

評議員		
田中　雄二	松浦　昇	相良　淳
三上　敏彦	室井　弘之	六本木　知子
松永　健	窪田　由利子	中田　俊一
木村　貴子	田渕　幸司	栗芝　貴
佐藤　久美子	菅原　恵美子	福島　律子
能村　三和子	奥秋　征人	

（敬称略）

広告

新入会員募集中！
公益社団法人　稲城市シルバー人材センター
市内在住の60歳以上で働く意欲のある方を募集しています
入会説明会は毎月実施しています
電話　042-377-2212（土日祝を除く8:30～17:15）
ホームページ　https//www.inagi-sc.or.jp

バリアフリー旅行のことなら
おはようトラベル株式会社
ご高齢のため、ご病気やけがの後遺症などで旅行に
不安を感じている皆様、ご相談ください♪
電話 042-315-3261
（営業日:水・日を除く9時～18時）
https://ohatra.com

ボランティア情報
ふれあい通信
令和7年（2025年）
7月号
第468号

●発行・申し込み・問い合わせ　社会福祉法人 稲城市社会福祉協議会　ボランティアセンター
●所在地：〒206-0804 稲城市百村7番地　稲城市福祉センター内　●電話：378-3800（直通）　●FAX：378-4999　●メール：vc@inagishakyo.org

みんなの食堂OPEN！ 1日限定！

～ひとりで食べるより、みんなで食べよう～

当協議会で行っているフードドライブに提供いただいた食品を活用して開催します。どなたでもお気軽にお越しください。

日　時　7月28日（月）12:00～15:00
※提供予定数に達し次第終了

会　場　福祉センター2階
介護予防教室（稲城市百村7）

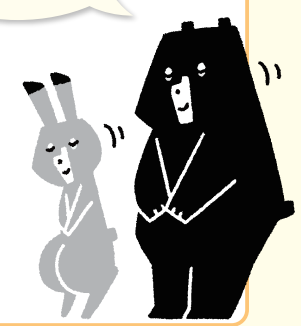
料　金　無料

メニュー　カレーライス

提供予定数　70食限定（先着順）

注意事項

- 予約は不要です。
- アレルギー対応はできません。
- お子さまのみで参加される場合は、連絡先がわかるようにしてお越しください。
- 持ち帰りや取り置きはできません。
- 飲料などを持参してください。



福祉なんでも相談会 同時開催

どこに相談したら良いかわからない困りごとや、地域の活動に関することなど、お気軽にご相談ください。
地域福祉コーディネーターがお話を伺います。

日　時　7月28日（月）12:00～15:00　　**会　場**　福祉センター2階 第2会議室（稲城市百村7）

※予約は不要です。※秘密は厳守します。※ご希望に応じて、食料品などをお渡しできます。

ふれあいセンター夏祭り

ご近所の方はもちろん、親子での参加も大歓迎です。

日　時	会　場	内　容
7月28日（月）　10:30～12:00	ふれあいセンター押立（押立410-3ジョイハウスたまがわ集会室）	防災講座
7月30日（水）　10:00～12:00	ふれあいセンター坂浜（坂浜2996-2稲城老人会館内）	夏！お楽しみ会 ちりめん根付「無事カエル」作り、かき氷を食べよう
8月20日（水）　13:00～15:00	ふれあいセンター百村・東長沼（百村7福祉センター内）	ボッチャ大会
7月28日（月）　11:00～12:00	ふれあいセンター向陽台（向陽台3-2-2向陽台小学校内）	モルック体験会
8月7日（木）　10:30～12:00	ふれあいセンター大丸（大丸1171オーエンス健康プラザ内）	ボッチャ大会 ※予約が必要です
7月30日（水）　13:00～15:00	ふれあいセンター長峰（長峰2-1-1長峰オアシス内）	マジックショーとお楽しみ会

参加方法　直接ご来場ください。　**問い合わせ・予約先**　ボランティアセンター　**Tel**　042-378-3800（直通）

募集・お知らせ

はじめての音訳（おんやく）ボランティア講座

音訳とは目の不自由な方のために、書籍や広報紙などの活字情報を「声」に変えてお届けするものです。あなたの声を活かしてボランティア活動を始めませんか。

日　時　9月4、11、25日、10月2、9、16日（いずれも木曜日）
10：00～12：00（全6回）

対　象　次の全てに当てはまる方
①基本的なパソコン操作が可能
②全6回に出席可能
③講座後、音訳ボランティアグループ「こだま」への参加や継続的な活動を前向きに検討してくださる方

会　場　福祉センター

定　員　10人程度

申込期限　8月25日（月）

災害ボランティアセンター運営訓練

災害時にボランティア活動をスムーズに進めるため、ボランティアの受け入れや派遣、活動の調整を訓練します。
災害時のたすけあいについて経験してみませんか。

日　時　8月21日（木）
13：00～15：30

対　象　市内在住または在勤で災害ボランティア活動に関心がある方※中学生以上

会　場　福祉センター

内　容　災害ボランティアのマッチング訓練など

※申し込みは不要（見学のみも可）

災害ボランティアセンターとは？

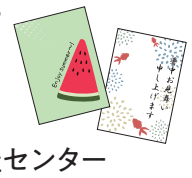
被災者と支援したいボランティアをつなぐ役割を担うセンターです。
震度6弱以上の地震や大規模な風水害が発生した際に、稲城市との協定により当協議会が、災害ボランティアセンターを設置・運営します。

◀昨年の訓練

在宅でボランティア活動をしてみませんか？

暑中見舞い執筆ボランティア

内　容　ハガキサイズの紙（画用紙でもOK）に、季節の挨拶やイラストを書いて、回収BOXに入れてください。ボランティアセンターが市内の高齢者施設にお届けします。



受付期限　7月31日（木）

回収BOX設置場所　市内各文化センター、福祉センター

※自分の住所・氏名は書かないでください。切手は不要です。

ボランティアセンターリーフレットの英訳ボランティア

内　容　ボランティアセンター刊行物（リーフレット）を分担して、英訳していただきます。

応募方法　右記のQRコード又はお電話にてお申込みください。

応募期限　8月8日（金）

スキマ時間を活かして
ボランティアしてみたい方に
おすすめです！

10月のプチハンズ

プチハンズは地域の手芸ボランティア育成のために開催している講習会です。10月は「テディベアのクリスマス飾り」を作ります。

日　時　10月22日（水）
13:30～ ※受付13:00～

会　場　福祉センター

定　員　20人
（事前申し込み制・先着順）

申し込み受付期間　10月7日（火）～21日（火）
※土・日曜日、祝日を除く

ご用意いただくもの　・綿・赤色の糸・ボンド・牛乳パック（10cm角程度）
・つまようじ・裁縫道具

費　用　材料費が若干かかります。

10月「テディベアのクリスマス飾り」

4・5ページの申し込み・問い合わせ　ボランティアセンター（地域福祉係）

Tel 042-378-3800（直通）　Fax 042-378-4999　vc@inagishakyo.org

目の不自由な方へ

点訳・音訳ボランティアグループのご協力により、本紙の点訳物・音訳CDを無料でお届けしています。必要な方はボランティアセンターまでご連絡ください。

Tel 042-378-3800（直通）

広告

幼保連携型認定こども園
矢の口幼稚園
祝63周年
設置者：学校法人　子どもの森
Tel:042-377-7654／Fax:042-377-7609
〒206-0812　稲城市矢野口１７５３
https://www.yanokuchi.ed.jp

稲城市社会福祉協議会 令和６年度 事業総括

令和６年度、当協議会は「第六次稲城市住民活動計画」（令和６年度～令和11年度までの６年間の事業計画）を策定しました。基本理念は第五次計画を継承し、「ともに支え　みんなでつくる　思いやりのまち」としました。

この計画の策定にあたっては、計画期間を同じくする、稲城市が策定した「第四次稲城市保健福祉総合計画」と緊密な連携のもと、互いに調和を図りました。これは、社会福祉法第107条に規定する「地域福祉計画（＝稲城市保健福祉総合計画）」と、同法第109条の規定に基づき地域福祉の推進を目的として各市区町村に設置されている民間の非営利組織である社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画（＝稲城市住民活動計画）」が、「地域福祉の推進」という同一の目的で策定する計画であるため、国や全国社会福祉協議会などでは両計画を共通の理念や施策方針の下に策定し、相互に補完・補強しながら推進することが望ましい、とするものに沿うものです。

この計画に従い、市民のご理解とご協力をいただきながら、行政や関係機関、諸団体との協働により各種事業に取り組みました。

①「重層的支援体制整備事業」の受託

稲城市は令和６年度から「重層的支援体制整備事業」を開始し、当協議会がその多くを受託しました。人材難のなか職員２名が市役所に常駐することになったのは、当協議会にとっては大きな痛手でしたが、当協議会がコミュニティソーシャルワーク事業を始めとする各種事業で培った対人援助技術や社会資源等をフル活用することで、本事業の推進に果たした役割は、事業初年度としては大いに評価できるものであったと確信しています。

②「夏!体験ボランティア」の対象拡大

本事業は、夏休み等の長期休暇を利用して主に中学生以上を対象としてきましたが、令和６年度は手話体験と災害ボランティアセンター（VC）の設営・運営訓練で小学生以上に対象を拡大しました。結果として３人の小学生が参加してくれました（手話２人・災害ＶＣ１人）。

今後は、小学生を含む幅広い年齢層の方に参加していただけるようプログラムの充実を図り、ボランティア活動のすそ野を広げる取組みを検討していきます。

③ 生活介護事業と就労継続支援事業での「外出事業」を再開

コロナ禍で中止し、収束後も慎重に再開の時期を探っていましたが、利用者及び保護者からの要望を受けて再開しました。

通所訓練室は府中郷土の森や大國魂神社などへ少人数で、梨の郷は神代植物公園や府中郷土の森などへ全員で、エイトピア工房（ゆう芳の里・喫茶陽だまりを含む）は多摩センターや神代植物公園などへ少人数で出かけました。まだ近隣市の公園等が中心ですが、普段の活動場所を離れ、皆さん生き生きとした表情で楽しまれた様子でした。

▲通所訓練室の外出事業

令和6年度決算概要　事業活動計算書（法人全体）

（単位：円）

科　目	6年度決算	5年度決算	増　減
サービス活動収益計	460,760,822	432,321,636	28,439,186
サービス活動費用計	473,119,686	428,296,921	44,822,765
サービス活動増減差額	▲12,358,864	4,024,715	▲16,383,579
サービス活動外収益計	603,532	913,471	▲309,939
サービス活動外費用計	20	4,718	▲4,698
サービス活動外増減差額	603,512	908,753	▲305,241
経常増減差額	▲11,755,352	4,933,468	▲16,688,820
特別収益計	8,323,580	22,000	8,301,580
特別費用計	8,940,357	895,148	8,045,209
特別増減差額	▲616,777	▲873,148	256,371
当期活動増減差額	▲12,372,129	4,060,320	▲16,432,449
前期繰越活動増減差額	111,851,246	107,666,997	4,184,249
当期末繰越活動増減差額	99,479,117	111,727,317	▲12,248,200
その他の積立金取崩額	24,681,145	20,372,790	4,308,355
その他の積立金積立額	21,140,486	20,248,861	891,625
次期繰越活動増減差額	103,019,776	111,851,246	▲8,831,470

広告

相談 あかね雲 行政書士事務所

成年後見　遺　言　相　続　離婚協議書　公正証書作成サポート

実績多数 安心して相談してください。前職は福祉職 やさしい対応を心がけています。

稲城長沼駅より徒歩3分　稲城市東長沼568-11 HPビル2F　（代表）藤後淳一

電話 042-202-8104
携帯 080-3346-4797
HP http://akanegumo.biz

重点事業の実施状況

(1) 連携・協働による ボランティアセンター機能の強化（地域福祉係）

・災害ボランティアセンター設営・運営訓練の実施や市内イベントなどでの災害ボランティアセンター周知活動を通して、多様な団体とのつながりや連携の機会を設けました。また、寄付金と固定資産等積立金を活用し、災害ボランティアセンター用の車両を整備しました。平時から様々な業務に活用しています。
・各ふれあいセンターは、多くの方に利用していただけるよう地域の交流場所として活動し、利用者数は増加しました。また、ふれあいセンターに寄せられる相談や課題は、地域福祉コーディネーターの地域支援として関係機関や地域の皆さんと共に取り組みました。
・幅広い世代に社会参加のきっかけとなる機会を提供するため、「夏！体験ボランティア」の対象年齢の拡大やプログラムの充実に取り組みました。
・ボランティアに関する相談は増加傾向にあります。それとともにコーディネートに配慮が必要な相談も増えています。地域福祉コーディネーターの取組みと連動し、誰でもボランティア活動に参加できるような支援や調整を行いました。
・地域福祉コーディネーターによる相談支援は、不登校や「ひきこもり」状態の方からの相談も多く、ボランティア活動への参加につなげたり新たにひきこもり当事者の女子会を開催したりして、継続的な支援を行いました。さらにネットワークや居場所作りなどを具体的に進めていくことが課題です。また、フードドライブを活用した、食料品の受領や提供に関するコーディネートを行いました。

(2) 障害者相談支援事業の充実（在宅支援係）

・障害のある方の相談窓口として多くの方に利用していただけるよう、社協だよりや定期的なＸへの投稿、新規に作成したリーフレット等を活用した結果、相談件数は令和５年度と比較して123件増の2,367件でした。障害別の割合では精神障害が67％で最も多く、知的障害が12％、身体障害が５％、発達障害と高次脳機能障害を合わせて３％、そのほかに障害がはっきりしない方が13％となっています。
・関係機関との連絡調整は、令和５年度と比較して686件増の2,420件でした。なかでも介護保険事業所から、高齢の精神障害の方や65歳未満で介護保険を利用する障害のある方に関する相談が増加しています。高齢福祉関係機関との連携を図る必要があることから、「精神障害者への接し方」と「障害福祉制度について」をテーマに研修会を開催したところ、地域包括支援センターやケアマネージャー、稲城市高齢福祉課職員など30人の支援者の参加がありました。
・不安感の軽減に配慮した丁寧な対応に努めるとともに、訪問対応も積極的に行うことで、必要なサービスに繋げました。訪問対応は、令和５年度と比較して104件増の708件でした。
・生きづらさを抱えた女性の居場所「さくらんぼ」を、地域福祉コーディネーターと共に開始しました。この居場所をきっかけに、ひきこもりサロン「とまりぎ」や就労支援事業所などに繋がった方もいました。
・困りごとを抱える方やひきこもりがちの方などを対象に、福祉センターロビーで販売している古本の整理活動を毎月実施しました。一冊ずつ本のほこりや汚れを綺麗にする作業を丁寧に行うことで、就業のイメージを持ち就業への意欲を高めるきっかけの場となりました。参加者は延べ14人で、整理した古本の売り上げ10,340円は活動費として、参加回数に応じて参加者に支給しました。

(3) 地域福祉権利擁護事業の安定的な事業運営と財源確保（権利擁護センター）

・判断能力が不十分な方の地域生活を支える地域福祉権利擁護事業を市民に周知するため、パンフレットを刷新しました。また、以前から要望の多かったエンディングノートを発行し、終活のニーズに応えるとともに成年後見制度の認知度向上を図りました。
・これらの取組みにより、専門員３人分の人件費を得るための要件となる、年度末時点の契約件数89件を目指しました。令和６年度は23件の新規契約をしましたが、解約も22件と多く、結果として、１件増加の77件に留まりました。解約理由は、施設入所９件、死亡解約６件、成年後見制度への移行３件、その他４件となっています。

(4) 法人としての財源の確保（総務係）

・令和６年４月１日から税額控除対象団体になりました。これにより個人の方が当協議会に対する賛助金や寄付金のご協力をいただいた場合、特別会員や寄付者が従来の所得税所得控除に加え、税額控除のどちらか減税効果の高い方式を選択できるようになりました。
・このことを当協議会ホームページ及びいなぎ社協だより197号において周知しました。会員募集については例年同様の自治会等の協力に加え、新たに稲城市の市民課に依頼して、当協議会の会員募集チラシとパンフレットを市外からの転入者に配布しました。残念ながら減少傾向に歯止めはかからず、令和５年度と比較して会員数が443件減の6,531件、賛助金が13万2,694円減の459万4,022円でした。今後さらに周知に努めるとともに、会員加入率の向上に努めます。
・寄付金は１千万円の大口寄付があったことから、令和５年度と比較して834万7,542円増の1,374万4,376円となりました。

心温まるご寄付に感謝いたします

令和７年４月１日から令和７年５月31日まで

お知らせ　当協議会への寄付金は、所得税の寄付金控除の対象です。

寄付者　敬称略 ※ご了解いただいた方のみお名前を掲載しています。

●飯田崇之　●エッセイクラブ稲城　●大丸自治会　●小沢岳史
●押立朝市　●東京土建一般労働組合 多摩・稲城支部
●山川学　●匿名15件

合計 **227,115円**

物品寄付者　敬称略 ※ご了解いただいた方のみお名前を掲載しています。

●川島覺　●中島冨子

寄付の方法は4つあります

❶ 窓口持参　❷ 振込　❸ 口座引落し
❹ クレジットカード 右記QRコードより▶▶

ありがとうございました

広告

あなたの不安を「安心」に変えるお手伝い

花セレモ

0120-17-8794

ご相談はいつでも受付しています　事務所：稲城市押立 1744-80

いなぎほっとサービス（有償家事援助事業）
活動会員大募集！

いなぎほっとサービスとは?

住民同士の助け合いの精神に基づき、市民一人ひとりが住み慣れた我が家で安心して暮らせるよう、家事など日常生活のお手伝いを地域の方々の協力を得て行う、有償のボランティア活動です。

サービスの対象となる方（利用会員）

ほっとサービスは、高齢者や障害のある方、病人等のいる世帯、妊産婦のいる世帯、ひとり親世帯など、市内にお住まいで在宅福祉サービスを必要とする方を対象としています。

いなぎほっとサービス 活動会員募集！

毎日の生活を送るうえで在宅福祉サービスを必要とする方に、家事など日常生活のサービスを提供する活動会員を募集しています。

登録資格

このサービスにご理解いただける18歳以上の方なら、資格や経験、性別、居住地は問いません。

サービス内容

- 掃除、洗濯、調理、買い物、薬の受け取り、通院等の付き添い
- 電球、電池の交換などの単発的なサービス

※サービス中に生じた活動会員（ボランティア）の交通費は、利用会員の負担となります。

活動報酬

1時間につき900円～1100円（活動する曜日、時間帯によりこの範囲で金額が変わります）

問い合わせ　在宅支援係 ヘルパーステーション　Tel 042-378-8211（直通）　Fax 042-379-3722

社会福祉法人 稲城市社会福祉協議会

〒206-0804　稲城市百村7　稲城市福祉センター内
Tel 042-378-3366（代表）　Fax 042-378-4999

各係の直通電話・電子メール（E-mail）をご利用ください。　HP https://inagishakyo.org

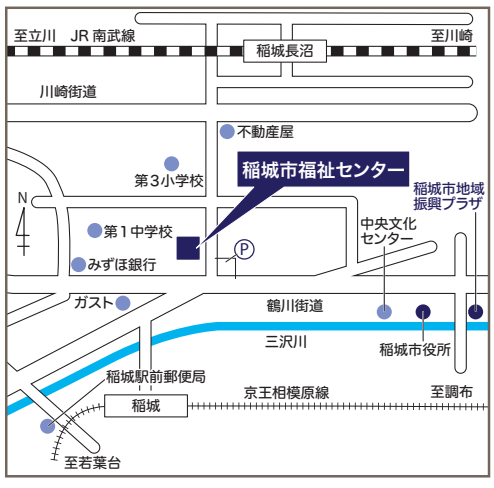
総務係
Tel 042-378-3366
soumu@inagishakyo.org
総務・福祉センター管理・
各種資金貸付事業・備品貸出

地域福祉係（ボランティアセンター）
Tel 042-378-3800
vc@inagishakyo.org
会員募集・ふれあいセンター・福祉教育・
歳末たすけあい運動・防災倉庫整備等点検事業

福祉権利擁護センター「あんしん・いなぎ」
Tel 042-378-5459
kenri@inagishakyo.org
地域福祉権利擁護事業・成年後見制度・
保健福祉サービス苦情解決委員会

在宅支援係
❶相談支援　Tel 042-378-3318
❷障害者地域活動支援センター　Tel 042-370-2480
❶❷共通　soudan@inagishakyo.org
❸ハンディキャブ　Tel 042-378-8426
❹ヘルパーステーション　Tel 042-378-8211
❺ファミリー・サポート・センター　Tel 042-378-5551
❸❹❺共通　zaitaku@inagishakyo.org
在宅支援係共通　Fax 042-379-3722

通所事業係
【生活介護事業】
●通所訓練室　Tel 042-379-3201　tsuusho@inagishakyo.org
【就労継続支援事業】
●エイトピア工房（焼き菓子、パンの製造・販売等）
稲城市平尾1-9-1 複合施設ふれんど平尾内
Tel/Fax 042-350-1891　eightpia@inagishakyo.org
●喫茶 陽だまり　稲城市向陽台6-7 城山文化センター内
Tel/Fax 042-379-5231　hidamari@inagishakyo.org
●ゆう芳（ほう）の里　稲城市坂浜3165-3



高年齢者無料職業紹介所「はつらつワーク稲城」
Tel 042-379-1333　Fax 042-370-2321
hatsuratsu@inagishakyo.org
稲城市東長沼2112-1 稲城市地域振興プラザ4階

重層的支援体制整備事業担当
Tel 042-378-2111（市役所内線 213）
稲城市東長沼 2111　稲城市役所 2 階

広告

ボクはTVでお馴染みのコツメカワウソの小次郎です

24時間365日態勢　有限会社 稲城防災設備

住宅用火災警報器や防犯カメラも安全・安心　誠実対応の私どもにお任せ下さい
価格も納得出来るまで調査し、最後にご相談ください　消防設備の事なら全てお任せ下さい
専門担当者が各種ご相談に丁寧に対応致しますので、お気軽にご相談ください
☆共同購入のご相談　☆現地調査のご相談　☆その他全て誠実に対応させて頂きます
http://www.inabou.co.jp　東京都稲城市東長沼2113−5
TEL. 042(377)6667　FAX. 042(377)6698

『保全・工事』スタッフ募集中!!
未経験者も大歓迎